

令和 3 年度
由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会
「分科会」(書面協議)

～ 書面協議 案件一覧 ～

2 協議案件

(1) 由利本荘市地域公共交通網形成計画 実施事業等の検証について

- ・【目標 1】「“使える”公共交通へ」について
- ・【目標 2】「“自分ごと”の公共交通へ」について
- ・【目標 3】「“ライフスタイル提案型”の公共交通へ」について
- ・【目標 4】「“守って育てる”山ろく線」について

(2) 地域公共交通確保維持改善事業に関する評価について

※ 同封しました「案件説明」をご参照いただきますようお願いいたします。

由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

「分科会」出席者名簿

【委員】 ※敬称略／備考欄の職氏名は代理出席者

区分	所属	職名	氏名（委員名）	備考
2号	東日本旅客鉄道株式会社秋田支社	総務部長	酒 井 宏 彰	
	由利高原鉄道株式会社	代表取締役社長	萱 場 道 夫	
	羽後交通株式会社	取締役社長	齋 藤 善 一	
	一般社団法人秋田県ハイヤー協会	本荘由利支部長	小 石 和 弥	
	国土交通省東北運輸局	秋田運輸支局長	玉 田 紀 之	
	秋田県観光文化スポーツ部	交通政策課長	小 松 勝 統	
	一般社団法人由利本荘医師会	会長	渡 邊 廉	
	由利本荘市PTA連合会	会長	小 番 正 和	
	由利本荘市身体障害者協会	会長	三 浦 良 明	
	由利本荘市婦人団体連絡協議会	会長	土 田 典 子	
	由利本荘市老人クラブ連合会	会長	前 川 侔	
	公益社団法人由利本荘青年会議所	理事長	大 越 雄 一 郎	
	鳥海山ろく線運営促進連絡協議会	会長	佐 藤 久 美	
	由利本荘市企画財政部	部長	高 橋 重 保	
	本荘地域公共交通利用者		菅 原 真 理	
	矢島地域公共交通利用者		菅 原 賢 一	
	岩城地域公共交通利用者		今 野 正 樹	
3号	由利地域公共交通利用者		多 田 厚	
	大内地域公共交通利用者		菊 地 洋	
	東由利地域公共交通利用者		長 谷 山 博 昭	
	西目地域公共交通利用者		鷹 島 恵 一	
	鳥海地域公共交通利用者		高 橋 莊 一	
	秋田大学	准教授	日 野 智	◆分科会 会長
	秋田県立大学	准教授	星 野 満 博	◆分科会 副会長

【事務局：地域振興課及び各総合支所】

所属	職名	氏名	
企画財政部 地域振興課	課長	佐 藤 弘 幸	
	班長	伊 藤 善 裕	
	主事	平 澤 裕 一 郎	
矢島総合支所 市民サービス課 振興班	主査	佐 々 木 茜	
岩城総合支所 市民サービス課 振興班	主事	澤 田 啓 吾	
由利総合支所 市民サービス課 振興班	主事	伊 藤 佑	
大内総合支所 市民サービス課 振興班	主査	小 助 川 健 志	
東由利総合支所 市民サービス課 振興班	主査	長 澤 辰 徳	
西目総合支所 市民サービス課 振興班	主事	阿 部 林 太 郎	
鳥海総合支所 市民サービス課 振興班	主席主査	豊 島 隆 浩	

事業No	事業名	事業主体	事業概要	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
事業2-2	地域住民の「ちょい乗り」の推進	由利本荘市／地域住民	・公共交通を利用する方が固定化されていることも利用者の減少に歯止めがかからない要因の一つである。	事業2-1により実施	事業2-1により実施	事業2-1により実施	事業2-1により実施	事業2-1により実施
			・そこで、普段は車を使用する方が、月に1度や2度と、積極的な気持ちで、あえて公共交通を利用することで地域の「生活の足」を維持していくことが可能になっていく。	同上	同上	同上	同上	同上
			・事業2-1で実施する「対話会」や各地域で開催される町内会長等が集まる会合などに出向き説明とお願いを繰り返すことで“使わなければならない”という意識を持っていただけるようにしていく。	同上	同上	同上	同上	同上
			＜事業スケジュール＞⇒	＜実施＞				
			＜事業の実施状況＞ 令和2年度：事業2-1にて推進した 令和3年度：事業2-1にて推進した					
事業2-3	「乗り[逢い]交通」事業の導入と推進	由利本荘市／バス事業者／タクシー事業者／地域住民	・地域内の移動に関する課題解決を、地域住民自ら実施する事業を「乗り[逢い]交通」事業と定め、実施までのサポートや経費の一部助成を行っていく。	随時対応	同左	同左	同左	同左
			・交通空白地域や公共交通機関の運行が充実していない地域に対して事業説明を行い、導入を促進していく。	P19にある空白地域において対応（事業2-3により）	同左	同左	同左	同左
			・事業導入の際には、公共交通機関の役割分担に十分配慮するよう交通事業者と協議を行い、市の地域公共交通活性化再生協議会の承認を経て実施する。	随時対応	同左	同左	同左	同左
			＜事業スケジュール＞⇒	＜随時 募集・検討協議・導入＞				
			＜事業の実施状況＞ 令和2年度：R2. 4. 1小菅野ボランティア輸送開始／R3. 1. 5石脇新山乗合タクシー開始 令和3年度：R3. 6. 1石沢地域交通開始【資料2-3】					
事業2-4	地域ごとのバスラッピングの導入	由利本荘市	・各地域を運行する市コミュニティバスの車両に、地域特有のラッピングを施すことにより“自分たちのバス”である意識を醸成し、“守り育てる”ための「ちょい乗り」に繋げていく。	鳥海ワゴン2台		大内ワゴンバス1台		西目ワゴン1台
			・ラッピングは、各路線の車両状態と市の財政状況を考慮して更新される際に施すものとする。					
			＜事業スケジュール＞⇒	＜車両更新時にラッピング実施＞				
＜事業の実施状況＞ 令和2年度：鳥海地域「中直根線」「猿倉線」で実施 令和3年度：※車両更新なし								

事業No	事業名	事業主体	事業概要	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
事業4-1	通学定期券購入費助成の検討	由利本荘市／由利高原鉄（株）	・平成26年度に166千人あった通学定期利用は、平成30年度には108千人にまで減少している。要因の一つとしてJRと比較して2倍以上となっている定期券代がある。					
			・これを解決する手段として定期券購入費の補助制度が挙げられるが、路線バス定期券購入費とのバランスや、新たな財政負担が生じる可能性もあることからアンケート調査を行い、検討を開始する。	アンケートの実施・検証	定期代の半額程度の割引きを試験的に導入	本格導入の検討		
			＜事業スケジュール＞⇒	＜アンケート・検討・判断＞		＜実施＞		
			＜事業の実施状況＞ 令和2年度：アンケートを実施し導入に向けた検討を行った 令和3年度：補助という形ではなく定期代自体の半額程度割引きをしてアンケート結果に対する実証を開始した【資料4-1】					
事業4-2	各駅へのフィーダー交通導入の検討	由利本荘市／由利高原鉄（株）	・鳥海山ろく線は路線距離23kmに12駅が設置されている。しかし、居住地によっては駅まで遠く利便性がよいとは言えない地域も多くある。					
			・これらの地域において、駅までの移動をしやすい環境を整えることで利用促進が図られる。					
			・地域におけるニーズを把握し、フィーダー交通を整備することで、地域住民の鳥海山ろく線の利用が促進されるのか、そのためにはどのような運行形態がマッチするのか検討していく。	地域の交通環境を考慮し、可能性のある地域に声掛け	同左	運行開始 随時募集する	同左	同左
			・検討にあたっては事業2－3「乗り[逢い]交通事業」の積極的活用も含める。					
			＜事業スケジュール＞⇒	＜調査・検討・協議＞		＜必要に応じて実施＞		
			＜事業の実施状況＞ 令和2年度：小菅野ボランティア輸送にて前郷駅・本荘伏見線の支線運行を実施 令和3年度：導入なし					
事業4-3	路線バスとの並走区間に関する整理検討	由利本荘市／由利高原鉄（株）／羽後交通（株）	・鳥海山ろく線並びに本荘伏見線は、利用する市民にとっては大切な「生活の足」であるものの、欠損額の補填が大きな財政負担になっている現状もある。					
			・このことから、運行状況や乗車状況の現状を把握し、そこから、互いに協力し調整を図ることで利便性を損なわず財政負担も軽減できるような対策はないか検討を行う。		現状把握と3者協議の開始	同左	方向性の決定	
			・検討にあたっては、通学定期券購入費助成や駅までの利便性を高めることで、本荘伏見線に与える影響も考慮しながら、目標4の3つの事業を一体的な対策となるよう検討を進める。					
			＜事業スケジュール＞⇒	＜調査・検討・協議＞		＜必要に応じて実施＞		
			＜事業の実施状況＞ 令和2年度： 令和3年度：担当者会議を行い検討事項を洗い出す					

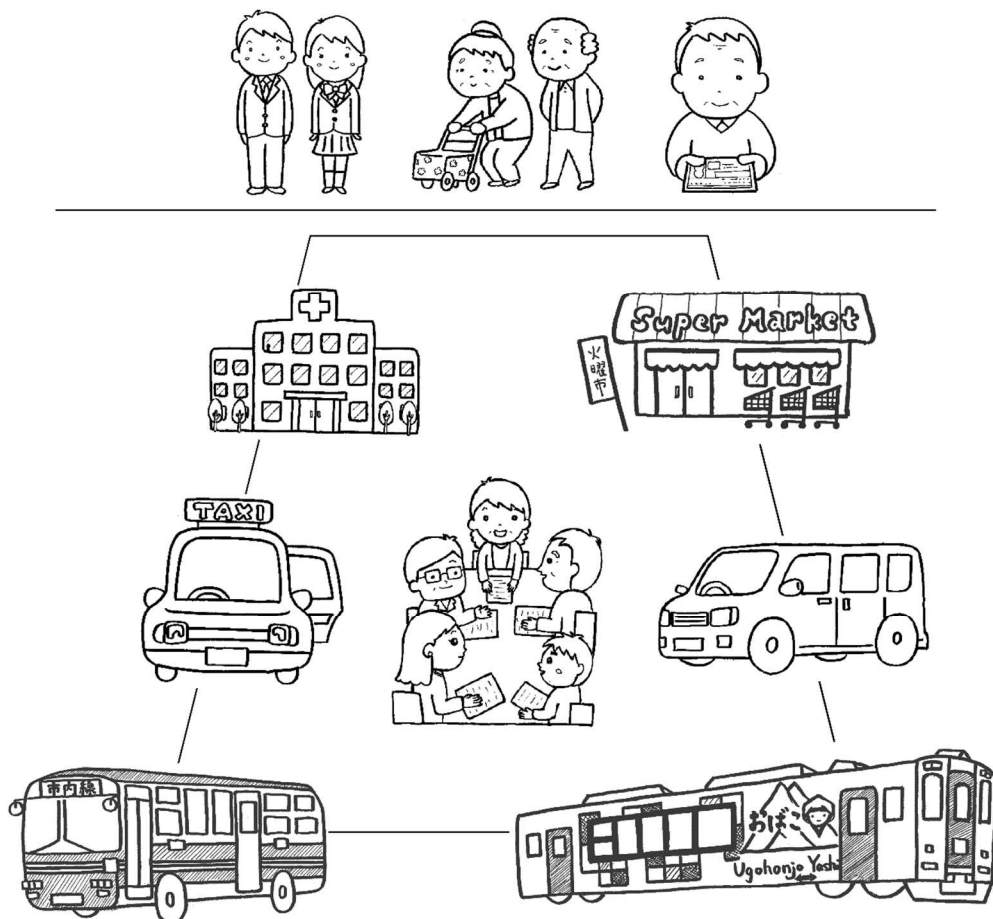
<各目標における指標の達成状況>

第5章 地域公共交通網形成計画の基本方針

- ・市で定める上位計画における公共交通の望ましい姿や、市と公共交通の現状を鑑み挙げられている前章における課題を解決する。
- ・現状の交通ネットワークを維持しながら、将来あるべき公共交通の姿を実現するための基本的な方針を定める。

計画の基本方針

持続可能な公共交通体系を構築し、
安心して「おでかけ」できる環境を創る



第7章 目標の評価と進行管理

1、目標の評価

- ・本計画で掲げた事業が的確に行われ、目指すべき公共交通の将来像に近づいているかを評価するため、それぞれの目標に指標を設けて取り組みの成果を測定し、評価していく。

【注】各目標の実績は全て12月時点での数値です

目標1 “使える”公共交通へ

指標1－1 地域間幹線の路線バスの平均運行本数と乗車人数

基準値：平成30年度	目標値：令和6年度
15本/日・15人/便	15本/日・15人/便
令和2年度実績：16本/日・6.4人/便	
令和3年度実績：16本/日・6.7人/便	

【モニタリング方法】

- ・羽後交通（株）が実施する乗降調査の実績をヒアリングし指標とする。

指標2－1 公共交通カバー率

基準値：平成30年度	目標値：令和6年度
74.6%	86.8%
令和2年度実績：75.4%	
令和3年度実績：77.3%	

【モニタリング方法】

- ・前計画においてモニタリングしてきた、交通空白地域において導入された公共交通機関のカバー率の調査を継続する。

＜評価・検証（案）＞

- ①地域間幹線の1便当たりの乗車人数が目標から大きく離れているので利用促進の必要性がある。
- ②乗り[逢い]交通事業によりのカバー率向上を図られた。

＜今後の改善点など＞

- ③コミバスと路線バスの接続強化を継続し、「高齢者お出かけ促進事業」の普及に努め地域内・地域間セットでの利用促進を促す。
- ④乗り[逢い]交通事業やコミバスの改正を含め、引き続きカバー率の向上に努める。

目標 2 “自分ごと”の公共交通へ

指標 2-1 「対話会」の開催回数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
14 回	年 20 回
令和 2 年度実績：26 回	
令和 3 年度実績： 6 回	

【モニタリング方法】

- ・市が町内会や各種会合等において、市民に対して公共交通の現状や、これから求められるものなどを説明し、意見交換を行うものを「対話会」とし、その開催回数を指標とする。

指標 2-2 「乗り[逢い]交通」事業の導入件数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
—	10 件
令和 2 年度実績：2 件（小菅野、石脇新山）	
令和 3 年度実績：1 件（石沢）	

【モニタリング方法】

- ・「乗り[逢い]交通」事業補助金の交付件数を指標とする。

指標 2-3 地域別ラッピング導入の台数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
—	5 台
令和 2 年度実績：2 台（鳥海）	
令和 3 年度実績：導入なし	

【モニタリング方法】

- ・市コミュニティバスの車両更新に伴い、地域特有のラッピングを施した車両の導入件数を指標とする。

＜評価・検証（案）＞

- ① 乗り[逢い]交通は実施事業を継続するためサロンを開催するなど、本事業の目的の一つでもある地域内の交流促進を図ることができた。石沢地域については事業を導入できたものの、利用に繋がらない点を改善しなければならない。

＜今後の改善点など＞

- ③ 「対話会」は R2 のダイレクトメールのほうが開催に結びつくことから、お知らせの方法を検討したい。
- ④ 乗り[逢い]交通事業は、事業の継続と利用促進に努める。

目標 3 “ライフスタイル提案型”の公共交通へ

指標 3-1 スーパーや医療機関の連携件数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
—	15 件
令和 2 年度実績：1 件（グランマート本荘南店）	
令和 3 年度実績：2 件（グランマート本荘南店、ニコット鳥海店）	

【モニタリング方法】

- ・市コミュニティバスの沿線にあるスーパーや医療機関と連携し、互いの利用促進に資する特典制度を導入した件数を指標とする。

指標 3-2 免許自主返納者の市コミュニティバス利用者数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
2,014 件	8,000 件
令和 2 年度実績：1,972 件	
令和 3 年度実績：1,806 件	

【モニタリング方法】

- ・市の割引制度である「市コミュニティバス半額利用者証」を使用してコミュニティバスに乗車した利用者数をカウントする。

＜評価・検証（案）＞

- ①ニコット鳥海店との連携により駐車場内にバス停を設けることができ、利用者も増えている。
- ②幹線である路線バスの割引制度を導入することができた。また、羽後信用金庫と連携することができ、各地域の信金窓口で購入手続きをすることができるようになり大きく利便性向上を図ることができた。
コミバスの免許返納車利用については本荘地域では大きく伸びているものの、各地域では減少している。

＜今後の改善点など＞

- ①スーパー等との連携については、「お試し乗車」と絡め「公共交通での移動＋目的地でのメリット」を訴求していきたい。
- ②コミバスの免許返納者利用が減少しており、路線バスの割引制度と連携するようなコミバスの割引制度を導入できないか検討していく。また、コミバスの地域内移動を充実し生活利用を促進する。

目標 4 “守って育てる” 山ろく線

指標 4－1 通学定期利用率

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
22%	40%
令和 2 年度実績：20.8%	
令和 3 年度実績：39.8%	

【モニタリング方法】

- ・鳥海山ろく線の沿線である鳥海、矢島、由利地域の高校生的人数に対して通学定期券を購入している人数の割合を指標とする。

※鳥海、矢島、由利地域の高校生

⇒鳥海中学校、矢島中学校、由利中学校の卒業生的人数より

※通学定期券を購入している人数

⇒通学定期券購入時の住所より鳥海、矢島、由利地域居住者を判別

＜評価・検証（案）＞

- ①通学定期代の半額程度を割り引くというかたちを試験的に導入し、大きく利用者を増やすことができた。また「定期収入」部分でも本年度は増額もしくは最低限の維持ができる見込みとなっている。

＜今後の改善点など＞

- ②特に購入が多かった新一年生の利用を継続できるようホスピタリティ等に配慮するとともに、中学校に出向き PR することで来年度入学生についても同様の利用水準を確保できるように務める。

2、目標の進行管理

（１）PDCA サイクルの実施

- ・本計画で掲げた目標を達成するために、的確に PDCA サイクルを実行していく。
- ・PDCA サイクルは、毎年開催する市地域公共交通活性化再生協議会において、各事業の実施状況および達成状況を報告し、有識者・事業者から広く意見・提案等を収集する。
- ・評価結果などは HP 等を通じて公表を行う。

■ Plan

- ・目指す将来像に近づくための目標を設定し、具体的な事業を計画する。

■ Do

- ・体制・役割等を明確に設定し、実際に事業を取り行う。

■ Check

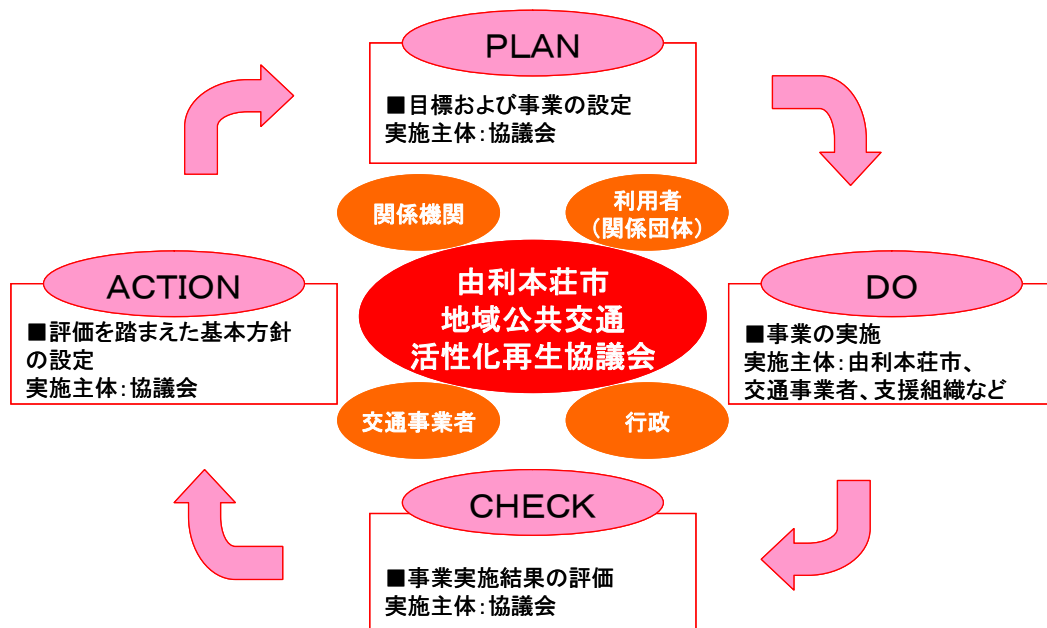
- ・途中で成果を測定・評価する。

■ Action

- ・必要に応じて修正を加える。一連のサイクルが終わったら、反省点を踏まえて再計画へのプロセスへ入り、新たなPDCAサイクルを進める。

（２）実施体制

- ・本計画のPDCA サイクルは、市地域公共交通活性化再生協議会を中心に、各取り組み事業の実施主体の協力を得て行う。



（PDCA サイクルの実施体制）

由利本莊市 地域公共交通網形成計画(第二次)

事業評価・検証 「資料編」

由利本莊市地域公共交通活性化再生協議会「分科会」
(書面協議)

(路線バス)運行本数・利用者数調べ

(R3.4.1改正 時刻表から)

路線名	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			備考
	運行本数 (便数)	1日あたり 乗車人数	1便あたり 乗車人数	運行本数 (便数)	1日あたり 乗車人数	1便あたり 乗車人数	運行本数 (便数)	1日あたり 乗車人数	1便あたり 乗車人数	運行本数 (便数)	1日あたり 乗車人数	1便あたり 乗車人数	運行本数 (便数)	1日あたり 乗車人数	1便あたり 乗車人数	
急行秋田線	18	153.3	8.5	16	166.0	10.4	16	139.3	8.7	16	139.0	8.7	16	120.0	7.5	【国庫補助】 (広域・自主運行)本荘－秋田市
急行横手線	4	29.0	7.3	6	44.3	7.4	6	29.0	4.8	4	23.7	5.9	4	29.3	7.3	(広域)本荘－東由利－横手市 ※R3から市単独補助路線
東由利線	8	47.3	5.9	8	52.0	6.5	8	60.3	7.5	8	56.0	7.0	9	94.3	10.5	本荘－東由利 ※H28.10.1から一部路線廃止し「東由利線」に
象潟線	42	286.7	6.8	38	297.0	7.8	38	279.7	7.4	38	240.7	6.3	38	230.0	6.1	【国庫補助】【県補助】 (広域)本荘－西目－にかほ市
(新)市内線	3(5)	16.3	5.4	13	117.7	9.1	13	100.7	7.7	13	82.0	6.3	13	77.0	5.9	自主運行 ※H30.4.1から「(新)市内線」として運行
中央線	16	108.0	6.8													自主運行 ※H30.4.1から「(新)市内線」として運行
福祉エリア線	8	20.3	2.5	8	13.0	1.6	8	12.0	1.5	8	9.7	1.2	8	13.0	1.6	
県立大学線	10	20.0	2.0	10	20.7	2.1	10	36.7	3.7	10	12.0	1.2	10	26.7	2.7	自主運行
松ヶ崎線	10	44.0	4.4	10	48.0	4.8	10	35.0	3.5	10	24.3	2.4	10	32.0	3.2	
岩谷線	14	51.0	3.6	14	54.3	3.9	14	50.3	3.6	14	43.0	3.1	14	43.0	3.1	本荘－大内(岩谷)
赤田線	12	92.0	7.7	12	78.3	6.5	12	77.3	6.4	12	68.3	5.7	12	77.3	6.4	
本荘伏見線	19	114.0	6.0	14	112.3	8.0	14	98.0	7.0	14	101.0	7.2	14	83.3	6.0	本荘－由利－矢島－島海
地域間幹線 平均値	18	114	6.4	16	121	7.3	16	109	6.5	16	101	6.4	16	100	6.7	

※1 運行本数(便数)はR3.4.1改正のバス時刻表から抽出
※2 利用者数はR3.10.5(火)からの平日3日間のサンプル調査の平均値を使用
※3 各項目の表記について
・備考欄の「(広域)」…他市町村へ行き来する路線
・備考欄の「【国庫補助】」…国庫補助対象路線
・備考欄の「【県補助】」…県補助対象路線
・備考欄の「自主運行」…国・県・市からの補助がない路線 ※未表示の路線は『市単独補助』路線

＜利用促進・生産性向上のためのキャッシュレス決済の導入＞

事業1-1②



＜取り組み状況＞

R3.9.1より羽後交通本荘営業所窓口においてPayPayでの支払いを導入した。

＜実績＞

高速バス料金や路線バス回数券の購入において活用されている。

公共交通カバー率 算出表

事業1ー2

地域名	総メッシュ数		地域ごとの「交通空白地域のメッシュ数」 および 「公共交通カバー率」																増 減 内 容
			計画策定時		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R元年度		R2年度		R3年度		
			空白 地数	カバー 率	空白 地数	カバー 率	空白 地数	カバー 率	空白 地数	カバー 率	空白 地数	カバー 率	空白 地数	カバー 率	空白 地数	カバー 率	空白 地数	カバー 率	
本 荘	292	→ → →	89	69.5	89	69.5	76	74.0	76	74.0	76	74.0	76	74.0	75	74.3	53	81.8	H28:子吉線開設(△13) R2:石脇新山乗合タクシー(△1) R3:石沢地域交通(△22)
矢 島	97		43	55.7	43	55.7	43	55.7	43	55.7	43	55.7	43	55.7	43	55.7	43	55.7	
岩 城	97		6	93.8	5	94.8	5	94.8	5	94.8	5	94.8	5	94.8	5	94.8	5	94.8	H27:道川北線開設(△1)
由 利	101		33	67.3	33	67.3	33	67.3	22	78.2	22	78.2	22	78.2	21	79.2	21	79.2	H29:子吉線 鮎川(西沢方面)延伸(△11) R2:小菅野ボランティア輸送(△1)
大 内	216		54	75.0	54	75.0	52	75.9	52	75.9	52	75.9	45	79.2	45	79.2	45	79.2	H28:羽広軽井沢線 代内(△1)、軽井沢生活改善C～羽広間(△1)開設 R1:羽広軽井沢線 平岫(△2)、及位(△2)、葛岡西里(△3) 開設
東由利	141		82	41.8	82	41.8	40	71.6	40	71.6	40	71.6	40	71.6	40	71.6	40	71.6	H28:八塩線、法内線、大吹川線 開設(△42)
西 目	53		9	83.0	9	83.0	9	83.0	9	83.0	9	83.0	9	83.0	9	83.0	9	83.0	
鳥 海	222		69	68.9	64	71.2	62	72.1	62	72.1	62	72.1	62	72.1	62	72.1	62	72.1	H27:中直根線(岡田代・打越デマンド:△2)、間木ノ平～長畑(△3)開設により H28:上樁デマンド開設(△2)
全 域	1167		367	68.6	361	69.1	307	73.7	296	74.6	296	74.6	289	75.2	287	75.4	265	77.3	

※1 メッシュの一つあたりの大きさは500メートル(四方)
※2 バス停から半径300メートル、鉄道駅から半径800メートルに入らない箇所(居住地)を由利本荘市では「交通空白地域」として設定
※3 地域をまたぐメッシュがあるため、地域別の数字の積み上げと全域分の数字は一致しない

公共交通カバー率 算出表

事業1-2

地域名	総メッシュ数		地域ごとの「交通空白地域のメッシュ数」 および 「公共交通カバー率」												増 減 内 容			
			計画策定時		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R元年度				R2年度	
			空白 地数	カバー 率	空白 地数	カバー 率	空白 地数	カバー 率	空白 地数	カバー 率	空白 地数	カバー 率	空白 地数	カバー 率			空白 地数	カバー 率
本 荘	292	→ → →	89	69.5	89	69.5	76	74.0	76	74.0	76	74.0	76	74.0	75	74.3	H28:子吉線開設(△13) R2:石脇新山乗合タクシー(△1)	石沢入
矢 島	97		43	55.7	43	55.7	43	55.7	43	55.7	43	55.7	43	55.7	43	55.7		
岩 城	97		6	93.8	5	94.8	5	94.8	5	94.8	5	94.8	5	94.8	5	94.8	H27:道川北線開設(△1)	
由 利	101		33	67.3	33	67.3	33	67.3	22	78.2	22	78.2	22	78.2	21	79.2	H29:子吉線 鮎川(西沢方面)延伸(△11) R2:小菅野ボランティア輸送(△1)	
大 内	216		54	75.0	54	75.0	52	75.9	52	75.9	52	75.9	45	79.2	45	79.2	H28:羽広軽井沢線 代内(△1)、軽井沢生活改 善C～羽広間(△1)開設 R1:羽広軽井沢線 平嶋(△2)、及位(△2)、葛岡 西里(△3) 開設	
東由利	141		82	41.8	82	41.8	40	71.6	40	71.6	40	71.6	40	71.6	40	71.6	H28:八塩線、法内線、大吹川線 開設(△42)	
西 目	53		9	83.0	9	83.0	9	83.0	9	83.0	9	83.0	9	83.0	9	83.0		
鳥 海	222		69	68.9	64	71.2	62	72.1	62	72.1	62	72.1	62	72.1	62	72.1	H27:中直根線(岡田代・打越デマンド:△2)、間 木ノ平～長畑(△3)開設により H28:上樺デマンド開設(△2)	
全 域	1167	367	68.6	361	69.1	307	73.7	296	74.6	296	74.6	289	75.2	287	75.4			

※1 メッシュの一つあたりの大きさは500メートル(四方)
※2 バス停から半径300メートル、鉄道駅から半径800メートルに入らない箇所(居住地)を由利本荘市では「交通空白地域」として設定
※3 地域をまたぐメッシュがあるため、地域別の数字の積み上げと全域分の数字は一致しない

<各交通モード間の接続強化と周知・PR>

事業1-3、1-5

《《コミュニティバスの利用にあたり》》

1、「コミュニティバス無料利用者証」について

由利本荘市内に住所を有し、次に該当する方はコミュニティバス（全路線）を無料でご利用いただけます。

- ・身体障害者手帳、療養手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦症病者手帳、被爆者健康手帳、特定疾患医療受給者証をお持ちの方
- ・生活保護を受けている方
- ・介護保険の「要介護認定」又は「要支援認定」を受けている方
- ・児童養護施設、障害児入所施設、児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センターにおいて養護等を受けている方

交付申請先：企画財政部 地域振興課 または 各総合支所 市民サービス課
（代理の方でも申請可能です）

申請に必要：上記手帳など証明できるもの（手帳など）
なもの

2、「運転免許証自主返納者支援制度」について

高齢者による交通事故の減少を図るため、次に該当する方はコミュニティバス（全路線）を半額でご利用いただけます。

- ・由利本荘市に住所を有している満65歳以上の方で、運転免許証を自主返納し、次の必要書類をお持ちの方

交付申請先：市民生活部 生活環境課 または 各総合支所 市民サービス課

申請に必要：「運転免許の取消通知書」と「健康保険証等の年齢確認書類」の両方
なもの または「運転経歴証明書」

3、「コミュニティバス共通回数券」について

200円券・100円券とも10回分の金額で11回分の回数券を購入できます。
（200円券 11枚=2,000円 / 100円券 11枚=1,000円）

購入窓口：・コミュニティバス車両内（運転手にお声がけください）
・企画財政部 地域振興課 または 各総合支所 市民サービス課

4、「市公共交通情報サイト」について

由利本荘市管内の鉄道、路線バス、コミュニティバスのダイヤ情報をまとめた情報サイトを
ご利用ください。路線バスとコミュニティバスの「バス停」位置情報も表示できます。

また、本市管内の鉄道、路線バス、コミバスの乗り継ぎは
Googleマップの「乗換案内」に対応しておりますのでご利用ください。



サイトQRコード

URL : <https://yurihon.jp/>

5、由利本荘市高齢者「おでかけ」促進事業の開始について

R3.7.1より上記事業を開始しており、羽後交通のゴールドフリー定期券が半額に
割引引きされております。
全地域にある羽後信用金庫で購入手続きができますので、積極的にご利用ください！

由利本荘市 高齢者「おでかけ」促進事業

由利本荘市民
70歳以上の方
または
運転免許を
自主返納した方
(年齢制限なし)

羽後交通の路線バスが
乗り放題

胸ヶ岳線・八幡平線・高速バスを除く

羽後交通の
「ゴールドフリー定期券」を
半額で販売します！

割引開始 令和3年 7月1日

1ヶ月 10,000円	⇒	5,000円
3ヶ月 21,000円	⇒	10,500円
6ヶ月 36,000円	⇒	18,000円

(全て税込価格です)

購入時は**保険証**をお持ちください

購入手続き窓口
■羽後交通(株)本荘営業所
⇒ 即日発券できます
■羽後信用金庫 本店
⇒ 購入申込みができ、後日、
羽後交通から券が送付されます
(石巻・川口・由利・島海・東由利・岩城・
西目支店は11:30~12:30の間、
休業しております)

積極的なおでかけ
にしましょう！

通院
趣味
お買い物

由利本荘市では、地域内のコミュニティバスと路線バスとの接続を強化しております！
接続時間入りの時刻表は担当課までご連絡いただければお渡しできます。
本荘地域/地域振興課
TEL(0184) 24-6378
その他の地域は各総合支所市民サービス課
■矢 島 TEL(0184) 55-4951 ■東由利 TEL(0184) 69-2110
■岩 城 TEL(0184) 73-2011 ■西 目 TEL(0184) 33-4610
■由 利 TEL(0184) 53-2112 ■島 海 TEL(0184) 57-2201

<この時刻表の見かた>

- ◆本荘方面に向かう場合と、戻る場合の時刻表に分かれております。
どちらの時刻表か確認するには表の一番上をご覧ください。
- コミバスを活用した、主な利用方法がごございますのでご覧ください。

お問い合わせ

由利本荘市役所 企画財政部 地域振興課 ☎: 0184-24-6378
(または) 各総合支所市民サービス課



↑時刻表の表紙

バス利用にあたっての
特典などを紹介 →

路線名：由利本荘市コミュニティバス『高尾線』

運休日：※便ごとの運休日は下記時刻表参照

お盆（8/13～15）、年末年始（12/31～1/3）

運賃：おとな（中学生以上）200円 / 小学生100円 / 未就学児 無料

運行会社：（株）大内交通サービス

問い合わせ：大内総合支所 市民サービス課 TEL0184-65-2211

予約方法：予約は前日の17時まで、土・日・祝日の予約は平日17時まで

（株）大内交通サービス（菊地建設（株））TEL0184-65-2022に連絡してください。

メモ：（ ）内は予約制となります。

予約状況により運行時間が繰り下がる場合があります。

全てフリー乗降区間となっております。

「高尾海又」で降車する方は運転手に申し出ください。

大内地域内の3路線の間で乗り継ぐ場合は「乗継券」を発行しますので

1路線分の料金で乗車できます。※その際は運転手まで申し付けください。

6便で「高尾海又」に予約運行する場合は、それ以降の到着時刻が15分程度遅くなります。

<運休日マーク> ●＝土、日、祝日運休 ※マークの無い便は運休なし

(JR)羽越線

羽後本荘駅	7:09	7:42	9:01	10:39	12:44	13:32	15:38	16:41	17:35	18:52
羽後岩谷駅	7:15	7:48	9:06	10:44	12:50	13:37	15:44	16:47	17:41	18:58
※待ち時間※	1:50	1:17	2:24	0:46	1:25	0:38	1:16	0:13	1:25	0:08

(路線バス)岩谷線

本荘駅前	7:10	8:55	10:05	11:55	13:45	16:15	18:25
道の駅おおうち	7:38	9:23	10:33	12:23	14:13	16:43	18:53
※待ち時間※	1:27	2:07	0:57	1:52	0:02	0:17	0:13

運休日マーク：●

No	経由地	3便	5便	7便	9便	10便
1	道の駅おおうち	9:05	11:30	14:15	17:00	19:06
2	大内総合支所	9:08	11:33	14:18	17:03	19:09
3	JA大内支店前	9:10	11:35	14:20	17:05	19:11
4	金崎	9:14	11:39	14:24	17:09	19:15
5	下滝	9:17	11:42	14:27	17:12	19:18
6	加賀沢入口	9:18	11:43	14:28	17:13	19:19
7	下川原	9:20	11:45	14:30	17:15	19:21
8	新沢局前	9:21	11:46	14:31	17:16	19:22
9	新沢	9:22	11:47	14:32	17:17	19:23
10	上村	9:23	11:48	14:33	17:18	19:24
11	下中帳	9:24	11:49	14:34	17:19	19:25
12	中帳	9:25	11:50	14:35	17:20	19:26
13	高尾海又（予約制）	－	【海又方面で降りる方は運転手にお知らせください】			
14	高尾	9:26	11:51	14:36	17:21	19:27
15	峠ノ沢	9:27	11:52	14:37	17:22	19:28
16	堀切入口	9:28	11:53	14:38	17:23	19:29
17	碓	9:30	11:55	14:40	17:25	19:31

コミバスや路線バスの利用例 [路] = 路線バス
[コ] = コミバス

利用の目的	中俣から「由利組合総合病院」への通院			
行き・帰り	路線名	発着地	発・着	時刻
行き	高尾線 [コ]	中俣	発	6:53
		道の駅おおうち	着	7:20
	岩谷線 [路]	道の駅おおうち	発	7:45
帰	岩谷線 [路]	組合病院前	着	8:04
		【滞在時間		5:50】
	高尾線 [コ]	道の駅おおうち	発	14:15
帰	高尾線 [コ]	道の駅おおうち	着	14:42
		中俣	着	14:42

利用の目的	中俣から「JA大内支店」や「Aコープ」へお買い物など			
行き・帰り	路線名	発着地	発・着	時刻
行き	高尾線 [コ]	中俣	発	8:14
		JA大内支店前	着	8:49
	【滞在時間			
帰	高尾線 [コ]	JA大内支店前	発	11:35
		中俣	着	11:57

利用の目的	中俣から「ぼぼろっこ」へ昼食や入浴、お買い物など			
行き・帰り	路線名	発着地	発・着	時刻
行き	高尾線 [コ]	中俣	発	10:09
		道の駅おおうち	着	10:36
	【滞在時間			
帰	高尾線 [コ]	道の駅おおうち	発	14:15
		中俣	着	14:42

<取り組み状況>

R3.4.1ダイヤ改正

に合わせて時刻表を公開した。

市のホームページ等に掲示するほか、申し出により交付や郵送でお渡ししている。

<内容>

コミバスのダイヤのほか、接続する路線バスや鉄道との接続時間を記載している。また、コミバスでの通院や買い物、温泉などの利用例を記載した。

<町内会や老人クラブ等との「対話会」>

事業2-1①

日付	地域	区分	相手	参加者数
R03.10.26	由利	乗り[逢い]交通	小菅野の生活と安全を守る会	9
R03.11.21	由利	町内会	田代集落	8
R03.11.28	由利	町内会	屋敷集落	14
R03.12.14	本荘	老人クラブ	石沢上野柏養会	16
R03.12.23	本荘	乗り[逢い]交通	石沢地域交通	17
R03.12.24	本荘	乗り[逢い]交通	石脇新山乗合タクシー利用者	8

計6回（町内会2件、老人クラブ1件、乗り[逢い]交通実施団体3件）

<取り組み状況>

昨年度は町内会長並びに老人クラブ会長にダイレクトメールを送り開催を打診したが、本年度は各種団体や個人的な集まりなども対象として実施したく、R3.8.1号の市広報に開催依頼文を掲載して呼びかけた。

<実績>

上記6件の開催となっている。

<主なご意見の内容>

- 10年くらい前であればバスを利用したいという方は多くいたと思うが、今はいない。今後、10年後くらいにはまた利用したい方が増えると思う。
- 子吉線で組合病院まで行くとなると乗り換えが必要になる。直接行くことはできないのか。
- 2～3回乗ったことがあるが、免許返納のことを考えると、先ほどの話にあったように日頃から「練習」のため乗ったほうがいいと思った。
- 路線バスは乗り降りが大変で、乗りたくても乗れない。
- できるだけ利用しようとしているが、曜日や時間が合わなくて利用できない。
- 乗り[逢い]交通事業は自分たちで実施するのは大変だと思ったが、やってよかった。



近年、高齢化の進展や免許返納制度の浸透によって「生活の足」に関して不安に思う方が多くなっています。しかし、公共交通機関の利用者は減少の一途をたどり、非常に難しい状況になっています。市では、こうした公共交通機関の現状やその必要性をお伝えしながら、市民の皆さまのご意見をお伺いするため、対話会を開催したいと考えています。

町内会や老人クラブ、各種団体、個人的な集まりなど対象は限定しません。対話会を開催する時間帯や曜日についても、ご要望に応じて対応します。お気軽にご連絡いただきます。

市政情報
9

公共交通等の「生活の足」に関する対話会を開催してみませんか

▲▲昨年度は町内会と老人クラブに呼びかけて30回ほど開催

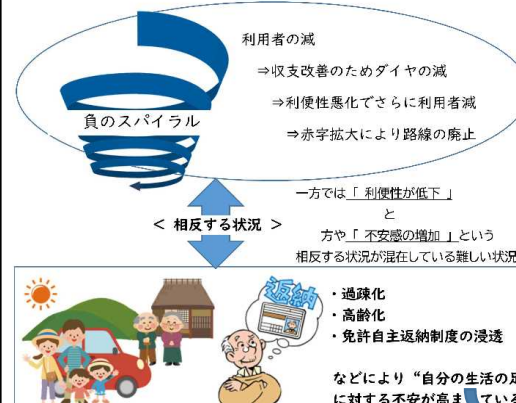


問い合わせ先
地域振興課
公共交通班
☎24-6378

き、ぜひこの機会に自家用車以外での移動手段について一緒に考えてみましょう！

★「公共交通」を「守り」「育て」よう！！★

現在、人口減少や車社会化により公共交通の利用者がどんどん減ってきており、運行本数が削減されたり、路線が廃止されたりと利便性が低下する、「負のスパイラル」に陥っている。



・過疎化
・高齢化
・免許自主返納制度の浸透

などにより「自分の生活の足」に対する不安が高まっている

<これから求められるもの>

元氣なうちから、公共交通を利用する【練習】をして自分に合った移動が可能かどうか【確認】しておきましょう。

<買い物／通院／趣味 などなど>

上記のように普段利用しない方が乗車することで「大幅な利用促進」にもなり「路線の維持」にも繋がります。

練習をしてみて「行けなかったり」、「時間が合わなかったり」した場合は、市の担当にお知らせください。具体的なご意見として参考にさせていただきます！



ためしに乗ってみよう コミュニティバス法内線

コミュニティバスをより身近に感じてもらうきっかけとなれば・・・という企画です。

【開催日】11月29日(月)

【対象の便】法内線の往き「3便」と帰り「6便」

【運賃】無料(道の駅での滞在費は各自ご負担ください)

※事前に申込みが必要です

乗り方は職員が
ご案内します

【日程】

①ご自宅近くの乗り場からコミュニティバス法内線3便に乗車

10:35 高村、10:40 中ノ沢、10:42 小倉、10:43 桂台、10:44 十二ノ前、10:45 新処、10:47 野田、10:51 蔵新田、10:53 宮ノ前、10:55 上里、・・・11:00 道の駅東由利着

②道の駅周辺で買い物やお食事など自由時間(11:00～13:15)

③コミュニティバス法内線6便で帰宅

13:15 道の駅東由利発・・・13:20 上里、13:22 宮ノ前、13:24 蔵新田、13:28 野田、13:30 新処、13:31 十二ノ前、13:32 桂台、13:33 小倉、13:35 中ノ沢、13:40 高村

【申込み】11月24日まで

市民サービス課 ☎ 69-2110 か

東交通(株) ☎ 69-2517 へ

お申込みください。



お問い合わせ

東由利総合支所 市民サービス課 担当: 長澤 辰徳

電話 69-2110

ためしに乗ってみようコミュニティバス法内線 実施報告書

R3.11.29 東由利市民サービス課 長澤

開催日: 令和3年11月29日(月) 天気: くもり

周知方法: 沿線約200世帯にチラシを配布、

参加者: 8名(往路3名、復路5名) ※いずれの参加者も片道のみ乗車

当初、道の駅を拠点として3便と6便を対象に実施予定であったが、社協や参加申込者との調整により当日お茶っこの会(サロン)が開催される克雪管理センターへ集まるための交通手段として5便と6便を対象に無料乗車を実施することとした。克雪管理センターへ到着後、サロンの冒頭で担当より法内線の現状等のお話をさせてもらう機会を設けていただいた。

参加した8名について

便	乗車区間	乗車者 ※敬称略	備考
5便	小倉 → 克雪センター	遠藤歳子、遠藤ヒデ	・いつも乗る・・・5名
5便	桂台 → 克雪センター	阿部良子	・久しぶり・・・1名
6便	野田 → 克雪センター	阿部佑子、遠藤ツギ子、工藤ミツオ	・初めて・・・2名
6便	新処 → 克雪センター	遠藤サダ子、遠藤てつ子	

乗車体験の様子

- ・いつも乗る人が初めて乗る人に乗り方を教えて乗っていた。
- ・法内地区でも大吹川線と同様にJAのおつかい便が来るようになり利用頻度が減ったという人がいた。
- ・運転手の評判は法内線でもよかった。

サロン会場(克雪センター)にて

- ・サロンには15名参加していた。うちコミバスで来場が8名。コミバス以外で来場した7名のうちコミバスに乗ったことのない人が4名。4名は皆車を運転する人。
- ・沿線上であればどこでも乗り降りできること、無料乗車券の制度、免許返納者半額の制度を説明した。
- ・いつも乗る人には仲間を誘って利用者増に協力してほしいと伝えた。
- ・今日初めて乗った人にはこれを機に利用してほしいと伝えた。
- ・今は運転できる人も将来への投資と考え、たまには利用するよう依頼した。

今後について

地域の人によると、法内地区の人(高齢者)は、すでにコミバスを利用しているか、運転ができるのでまだ乗らないかのどちらかであり、周知不足により乗れるのに乗っていないという人はほぼいない。定期的に道の駅に集まる自主的な団体利用も軌道に乗っており、新規利用者の急増は難しいことから、「未来への投資」を前面に押し出した周知活動や、市民福祉班と連携し新たな免許返納者へ直接利用を呼びかけるなどの取り組みを行う。また、乗降規制を撤廃した蔵地区での新規利用者を増やす取り組みを行

**ためしに乗ってみよう
コミュニティバス大吹川線**

【開催日】11月25日(木)

【対象の便】大吹川線の往き「2便」と帰り「3便」

【運賃】無料(道の駅での滞在費は各自ご負担ください)
※事前に申込みが必要です

【日程】

- ①ご自宅近くの乗り場からコミュニティバス大吹川線
(8:40 大平、8:42 土場沢、…8:50 大吹川、…9:23 道の駅東山)
- ②道の駅周辺で買い物や食事など自由時間(9:23～)
- ③コミュニティバス大吹川線3便で帰宅
(12:20 道の駅東山利発)

【申込み】11月22日まで
市民サービス課 ☎ 69-2110 か
東交通(株) ☎ 69-2517 へ
お申込みください



**ためしに乗ってみよう
コミュニティバス猿倉線
年末年始キャンペーン
のお知らせ**

コミュニティバスをより身近に感じてもらうきっかけとなれば・・・という企画です。

【開催日】 12月21日(火)・24日(金)・28日(火)
1月4日(火)・7日(金)・11日(火)・14日(金)
火曜日は「鳥海荘」！ 金曜日は「ホテルまさか」！ HGO

【対象の便】 猿倉線の往き「②便」と帰り「⑤便」
(伏見笹子線・中直根線・血川線の乗り継ぎOK)

【運賃】無料 ※予約者のみ特別サービスあり
○ホテルまさか(子宝の湯)：休憩利用料500円が無料！！
※入浴料500円は別途必要です。ラーメンやランチもやっています。
○鳥海荘(美肌の湯)：入浴料310円が無料！！
※休憩(大広間)利用の場合利用料260円は別途必要です。

※事前に申込みが必要です！

【乗り継ぎ方法】

- ① 予約日にご自宅近くの乗り場や路線上からコミュニティバスに乗車
(伏見笹子線 上野発 8:38 中直根線 川原発 8:40 血川線 血川発 8:03)
- ② 猿倉線「②便 菜らんど 9:37 発」に乗り継ぎし湯ノ沢温泉・猿倉温泉へ
- ③ コミュニティバス猿倉線「⑤便 鳥海荘 15:40 発」で乗り継ぎし帰宅
(伏見笹子線 菜らんど 16:30 発 中直根線 菜らんど 16:20 発 血川線 道の駅鳥海郷 17:05 発)

【申込み開始日】 12月6日(月) 9:00～
【申込み締め切り日】 12月15日まで

市民サービス課 ☎ 57-2201 へお申込みください。

- 注) 1、申込には人数制限があります。(4名まで) 早い物勝ちです！
注) 2、一人につき2回まで予約出来ます。
注) 3、一度の予約は最大2人までといたします。※通常の乗り継ぎも料金はかかりません

お問い合わせ
鳥海総合支所 市民サービス課 担当：豊島 隆清
電話 57-2201

＜取り組み状況＞

「対話会」が思うように開催できないことから、地域住民に対してチラシでお試し乗車を呼びかけて取り組みを行った。

＜実績＞

●R3.11.25：東由利「大吹川線」

往路4名、復路3名の参加であった。皆でお出かけすることに対して「楽しい」と感じており、これが継続利用になるよう働きかけていく。

また、普段、利用している方からの“使い方”を聞きたいという意見もあった。

●R3.11.29：東由利「法内線」

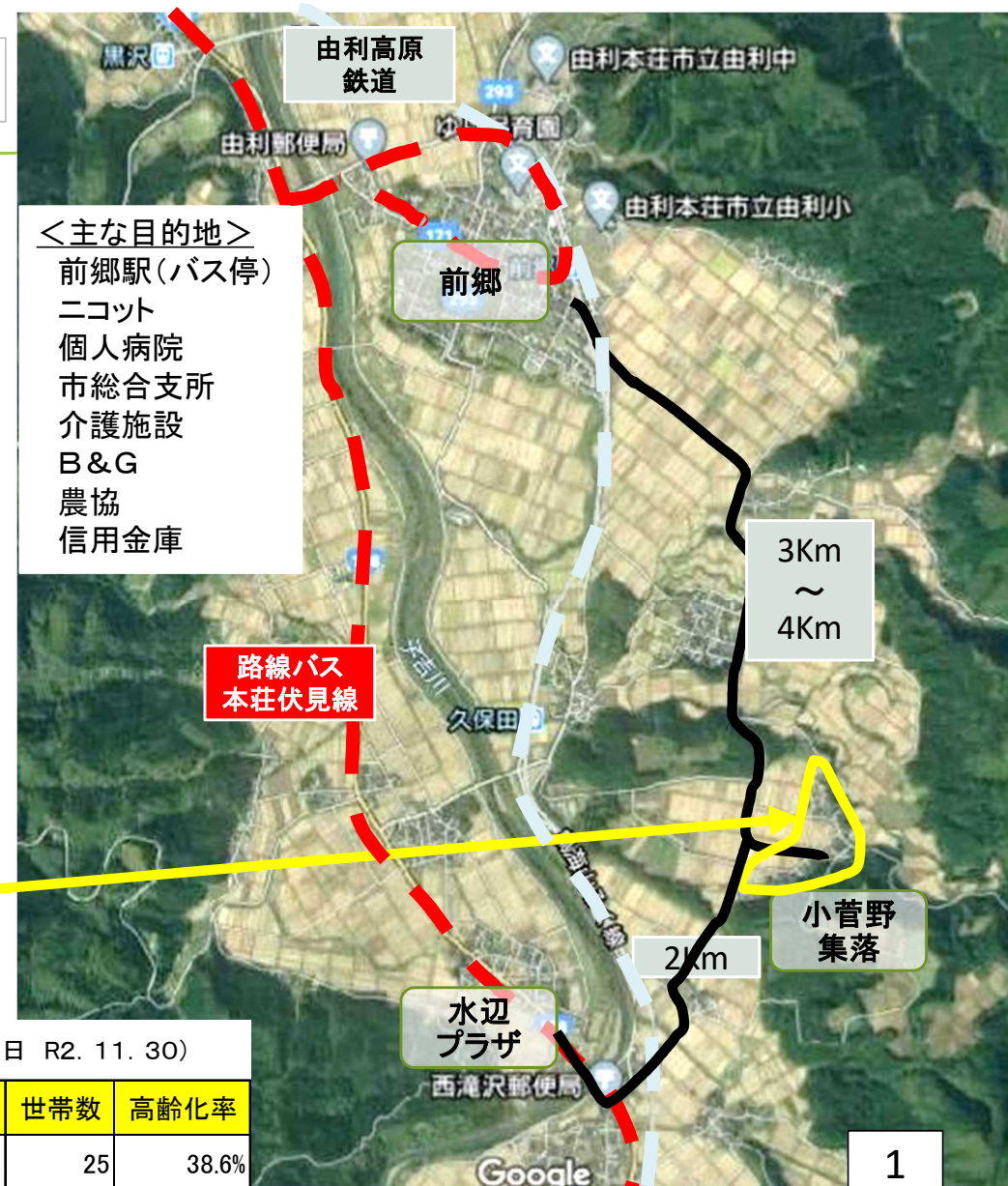
※別紙のとおり

●R3.12.21ほか7日間：鳥海「猿倉線」

非常に利用が少ない路線であることからピックアップしたが、残念ながら申し込みがゼロであった。沿線施設の配慮は感謝すべきであり、今後の企画に繋げていきたい。

■現在、検討中の地域もあり、今年度いっぱい実施できる地域から実施していきたい。

■ 小菅野集落 互助による輸送



住民登録人口 (基準日 R2. 11. 30)

町内名	男	女	計	世帯数	高齢化率
小菅野	37	51	88	25	38.6%

■ 運営内容



【運行開始】 令和2年4月 ※本格運行に移行済み

【 運営 】 「小菅野集落の安全と生活を守る会」を設立
役員は会長、副会長、事務局、ドライバー
利用者は集落全員が可能

【 運行 】 随時運行としドライバーが対応可能なら運行する
※火曜日／金曜日の週2回でスタートしたが変更した

【 運賃 】 1乗車100円(前郷)・50円(水辺プラザ)

【利用状況】 稼働：78日／133回 乗車：152名

【 車両 】 市のリース車両（シエンタ）を無償貸与



小菅野サロン



- ✓ 不定期ではあるが「小菅野サロン」を開催している(月に1回くらい)
- ✓ 秋田県立大学によるICTを活用するための研究の一環で予約等のアプリが導入された
- ✓ 前郷地内にあったAコープの閉店に伴い代替的に運行されている移動販売車に合わせてサロンを開催している

<取り組み事例>

■ 石脇新山乗合タクシー



住民登録人口（基準日 R2. 11. 30）

町内名	男	女	計	世帯数	高齢化率
石脇今町	132	139	271	104	35.1%
上ノ山	87	96	183	82	28.4%
長老沼	79	84	163	59	27.0%
東新山町	318	329	647	271	30.3%
小計	616	648	1,264	516	30.6%



■ 運営内容

【運行開始】 令和3年1月

【 運営 】 本事業を利用したいという方による利用者を設立
「石脇新山乗合タクシー利用者会」
現在の会員は21名（男8名、女13名）

【 運行 】 予約制で火曜日／木曜日の週2回 ※祝日も運行可能
マックスバリュ特売日の20日、30日も運行

【 運賃 】 片道400円
※ 今町付近からマックスバリュまでは通常800円程度

【利用状況】 稼働率：稼働可能日136回のうち31回（22.8%）
乗車率：1.3人（43人／31回） ※目標は乗車率2人

【 車両 】 委託先のタクシー車両で運行

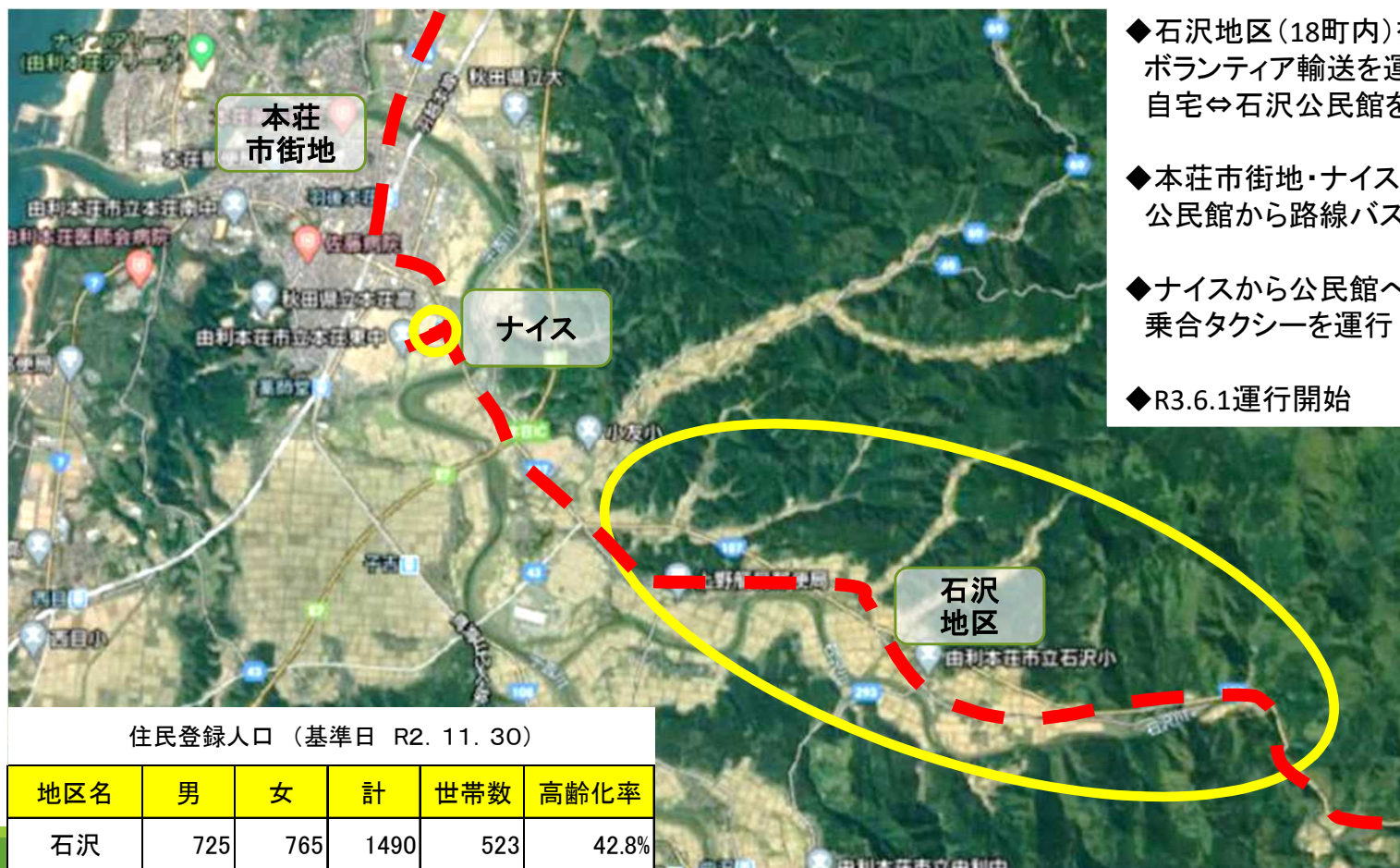
石脇新山乗合タクシー



- ✓平均利用者2人以上を確保するため「意見交換会」を開催
- ✓小菅野集落に導入されたアプリの発信版を導入予定
- ✓免許返納による固定客が2名いるほか、冬期間の利用者増を確保したい

<取り組み事例>

■ 石沢地域交通（互助による輸送・路線バス・乗合タクシーの連携）



■ 運営内容

- 【運行開始】 令和3年6月 ※11月まで試験運行期間
- 【 運営 】 石沢地域振興課（ドライバー登録は7名）
- 【 運行 】 予約制で火曜日／木曜日の週2回 ※祝日は運休
 - ・ボランティア輸送で自宅と公民館の間を送迎
 - ・公民館からナイスまでは路線バス
 - ・ナイスから公民館までは乗合タクシー
- 【 運賃 】 ボランティア輸送：片道50円
乗合タクシー：650円(小型車両)／450円(ジャンボ)
- 【利用状況】 自発的な利用はゼロ ※サロンでの利用が3回
- 【 車両 】 ボランティア輸送：市のリース車両
乗合タクシー：委託先のタクシー車両で運行

石沢地域交通



- ✓「おでかけを考える会」を開催してどのような移動手段がよいのか検討した
- ✓上記検討した内容を実際に利用してみる練習会を行った
- ✓利用の機会創出と地域への定着を目指してサロンを開催している
- ✓運行内容を見直したいという声があるので対応を検討してく

<沿線のスーパーや医療機関との連携>



敷地内の停留所に停車するコミュニティバス

鳥海地域を走るコミュニティバス専用の停留所が、利用者の安全性や利便性の向上を図るため「ホームコ

コミュニティバスをもっと便利に安全に ニコット鳥海店の敷地内に停留所設置

「以前、鳥海町伏見」は「70歳・鳥海町伏見」は「以前の最寄りバス停は距離があったので、店舗の前で降りることができるのは便利で助かる」と話しました。



↑ニコット店内外にバスの待合スペースを設置
駐車場敷地内のバス停→



<取り組み状況>

コミバス「子吉線」におけるグランmart本荘南店（千刈）でのスタンプカードを令和元年度から継続している。

本年度は、鳥海地域において「ニコット鳥海店」と連携し、駐車場内にバス停を設置して3路線の乗り入れを開始した。買い物時間を確保できるようダイヤ改正も行った。

<実績>

【子吉線】

スタンプカード利用件数：14件／乗車証交付件数：56件 ※どちらも累計件数

【鳥海地域】

伏見笹子線、中直根線、猿倉線：10月～12月の合計乗降者数 延べ193人



<高齢化や増加する運転免許自主返納者への対応>

事業3-2

由利本荘市 高齢者「おでかけ」促進事業

由利本荘市民
70歳以上の方
または
運転免許を
自主返納した方
(年齢制限なし)

羽後交通の路線バスが
乗り放題
駒ヶ岳線・八幡平線・高速バスを除く

購入手続き窓口
■羽後交通本荘営業所
⇒即日発券できます
■羽後信用金庫 本店
⇒購入申込みができ、後日、
羽後交通から券が送付されます
(石版・川口・由利・高橋・東由利・岩城・
西目支店は11:30～12:30の間、
最速発券しております)

購入時は保険証をお持ちください

羽後交通の
「ゴールドフリー定期券」を
半額で販売します！
割引開始 令和3年7月1日

1ヶ月 10,000円 ⇒ 5,000円
3ヶ月 21,000円 ⇒ 10,500円
6ヶ月 36,000円 ⇒ 18,000円
(全て税込価格です)

路線バスをおでかけ
に活用して
地域の活性化
に貢献してください

通院 趣味 お買い物

由利本荘市では、地域内のコミュニティバスと路線バスとの接続を強化しております！
接続時間入りの時刻表は担当課までご連絡いただければお渡します。

本荘地域／地域振興課 TEL(0184) 24-6378
その他の地域は各総合支所市民サービス課
■大内 TEL(0184) 65-2211
■矢島 TEL(0184) 55-4951
■東由利 TEL(0184) 69-2110
■岩城 TEL(0184) 73-2011
■西目 TEL(0184) 33-4610
■由利 TEL(0184) 53-2112
■島海 TEL(0184) 57-2201

この事業は、社会福祉推進費(高齢者福祉費)による
「地域民生福祉事業」で、55歳以上の高齢者の
資金を支出して行っております

車の運転に不安を感じたら・・・

運転免許を自主返納しませんか？

由利本荘市では、65歳以上の方が運転免許を
自主返納した場合に次の支援を行っています。

【支援内容】 市コミュニティバスの利用料金を半額補助

市コミュニティバスに乗車の際ご提示いただくと利用料金が
半額になる「半額利用者証」を交付します。

【対象者】 ・由利本荘市の住民基本台帳に登録されている満65歳以上の方で
運転免許を自主返納し、下記の必要書類をお持ちの方
・由利本荘市の住民基本台帳の登録から外れたら失効となります

【申請手続】 次の書類をご持参の上、市生活環境課 または 各総合支所市民サービス課で
交付申請の手続きをしてください。

一必要書類一 ① 運転経歴証明書
② 運転免許の取消通知書 と 健康保険証等の年齢が確認できるもの(両方)
上記 ① か ② のどちらかで結構ですのご持参ください。

＜お問合せ＞ 由利本荘市 生活環境課
TEL 0184-24-6253

運転免許返納
最寄りの営業所または
運転免許センター

市役所窓口へ申請
生活環境課または
各総合支所市民サービス課

そのほかに受けられる優遇サービス

他にも65歳以上の方が「運転経歴証明書」を提示することで受けられるサービスがあります。
詳しくは裏面をご覧ください。

「運転経歴証明書」とは、過去の運転経歴を証明するものです

有効期限内に運転免許を返納し、その日から5年以内であれば交付できます。
交付を受ける際は、警察署や免許センターなどの窓口で申請する必要があります。

- ◇ 秋田県内のタクシーの乗車運賃割引
 - ◇ 県内路線バス(3社)の回数券割引
 - ◇ 由利本荘市高齢者「おでかけ」促進事業による羽後交通ゴールドフリー定期券の割引
- など・・・(詳しくは裏面を)

秋田県内のタクシーの乗車運賃割引

制度名 : 運転免許返納高齢者タクシー割引制度
対象の乗客 : 秋田県内の全タクシー(法人・個人)
割引内容 : 乗車運賃を1割引
対象者 : 65歳以上の方で「運転経歴証明書」を持っている方
利用方法 : タクシー利用時に「運転経歴証明書」を提示

公共交通機関の割引など

県内のバス会社3社(中央交通、羽後交通、秋北バス)では、
運転経歴証明書を提示すると1,200円分の回数券を1,000円で購入
できる『とくとく回数券』の販売をしております。

由利高原鉄道では駅窓口で運賃支払時に運転経歴証明書または
ふれあい受給済証を提示していただくと運賃が半額になります。

運転免許自主返納高齢者支援サービス

65歳以上の高齢者が、このチラシが貼ってあるお店で
「運転経歴証明書」を提示すると、お店ごとに料金割引等の
サービスが受けられます！

＜秋田県ホームページ＞

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/11142>



由利本荘市 高齢者「おでかけ」促進事業

由利本荘市では高齢者の移動手段の確保と
公共交通機関の利用促進を目的とした
上記事業を実施しております。

運転免許を自主返納した方(年齢不問)と
70歳以上の方が購入できる
羽後交通のゴールドフリー定期券を
半額で販売しております。

購入は、羽後交通本荘営業所の窓口か、
市内各地域にある羽後信用金庫で手続きが
できます。

由利本荘市 高齢者「おでかけ」促進事業

羽後交通の路線バスが
乗り放題
駒ヶ岳線・八幡平線・高速バスを除く

購入手続き窓口
■羽後交通本荘営業所
⇒即日発券できます
■羽後信用金庫 本店
⇒購入申込みができ、後日、
羽後交通から券が送付されます
(石版・川口・由利・高橋・東由利・岩城・
西目支店は11:30～12:30の間、
最速発券しております)

羽後交通の
「ゴールドフリー定期券」を
半額で販売します！
割引開始 令和3年7月1日

1ヶ月 10,000円 ⇒ 5,000円
3ヶ月 21,000円 ⇒ 10,500円
6ヶ月 36,000円 ⇒ 18,000円
(全て税込価格です)

路線バスをおでかけ
に活用して
地域の活性化
に貢献してください

通院 趣味 お買い物

由利本荘市では、地域内のコミュニティバスと路線バスとの接続を強化しております！
接続時間入りの時刻表は担当課までご連絡いただければお渡します。

本荘地域／地域振興課 TEL(0184) 24-6378
その他の地域は各総合支所市民サービス課
■大内 TEL(0184) 65-2211
■矢島 TEL(0184) 55-4951
■東由利 TEL(0184) 69-2110
■岩城 TEL(0184) 73-2011
■西目 TEL(0184) 33-4610
■由利 TEL(0184) 53-2112
■島海 TEL(0184) 57-2201

この事業は、社会福祉推進費(高齢者福祉費)による
「地域民生福祉事業」で、55歳以上の高齢者の
資金を支出して行っております

<取り組み状況>

R3.7.1より羽後交通ゴールドフリー定期券を半額で販売する補助事業(高齢者お出かけ促進事業)を開始した。

これにより、これまで羽後交通本荘営業所でしか購入できなかったものが、各地域にある羽後信用金庫でも手続きが可能となった。

また、免許返納により得られる特典をまとめたチラシを作成し、市HPに掲載したほか、総合支所を含む市役所窓口を設置した。

<実績>

7月～12月で52件の購入実績がある。羽後交通本荘営業所：46件／羽後信金：6件



おばこ
YURI KOGEN RAILWAY

地域の鉄道としてどうあるべきか？
利用してもらうにはどうするべきか？
未来ある高校生の応援はできないか？

ゆりてつのレールを
地域の未来へつなげたい…



高校生保護者に
アンケート実施
(2020年8～9月)

「料金引き下げなら
利用する」が4割

定期券
¥特別割引
未来ある高校生様

令和3年4月

**高校生の通学定期券を
大幅値下げします！**

そのほかにも
学生に優しい環境づくり

- ・車両の増結運行で余裕ある車内環境
補習日程に合わせた増結運行
- ・矢島駅、前郷駅での学習環境づくり
机・椅子の増設など、お迎えまでの快適な空間を
過ごせるように整備

値下げ例 《矢島 ⇄ 羽後本荘》
(ほぼ半値) **18,230円 ⇒ 9,500円**

《西滝沢 ⇄ 羽後本荘》
15,400円 ⇒ 8,100円

《前郷 ⇄ 羽後本荘》
11,950円 ⇒ 6,500円

大学生、各種学校生も対象になります。

由利高原鉄道株式会社

秋田県由利本荘市矢島町七日町字羽坂 21 番地 2

Tel : 0184-56-2736 Fax : 0184-56-2850 Mail : info@obako5.com URL : http://www.obako5.com

2021年3/1～3/31まで事前申し込みを
受け付けております。お申し込みはこちら→



＜取り組み状況＞

R3.4の割引開始に先立ち、3月から事前申し込みを受け付け販売を開始した。
4月以降はホスピタリティの向上に努めているほか、通学生に対して試験期間中にプレ
ゼント（お菓子など）を提供するなど継続的に利用してもらえるよう努力している。

＜実績＞

R3.4の新学期開始時点での購入状況 ※＜＞内は前年度の購入率

矢島地域：1年生 24名中14名（58%）
2年生 26名中 9名（35%）＜27%＞
3年生 25名中11名（44%）＜32%＞

由利地域：1年生 31名中15名（48%）
2年生 27名中11名（41%）＜30%＞
3年生 26名中 3名（12%）＜ 4%＞

鳥海地域：1年生 24名中11名（51%）
2年生 17名中 8名（47%）＜35%＞
3年生 16名中 4名（25%）＜19%＞

全体合計：1年生 79名中40名（51%）
2年生 70名中28名（40%）＜30%＞
3年生 67名中18名（27%）＜18%＞
全学年 216名中86名（40%）＜25%＞

通学定期収入の状況 (R3上期とR2上期の比較)

R3：6,082千円
R2：5,637千円
＝445千円の増

少子化や家族送迎により
H16以降通学定期収入が対
前年で増加したことはなかつ
たが増加に転じている

沿線の生徒数と購入者数の状況をみると新入生である1年生の購入率が高くなっている。
2年・3年生の購入率も延びているが、家族の送迎から公共共通機関での通学に切り替
えるのはハードルが高いのではと考えられる。

したがって、令和4年度の新入生からも高い割合で購入いただければ、定期利用者はさ
らにアップすることが考えられる。

また、矢島高校に通学する生徒の購入率も23%から46%と大幅に増えている。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4年 1月 17日

協議会名: 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
羽後交通株式会社	本荘地域循環バス (正廻り) 本荘地域循環バス (逆廻り)	【前回の評価結果】 具体的な利用パターンの提案など、利用促進の取り組みに期待する。 【評価結果の反映状況】 直近の利用実態を分析し、新型コロナの影響により利用の低下が見込まれたものの、運転免許返納者の利用促進が見込まれることから、目標値を現状維持とした。 また、時刻表に幹線との乗り継ぎや利用例を記載したものを作成した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 【目標値】25,000人 【実績値】22,191人 【達成率】88.7% 運転免許返納者の利用は一定数あったものの、新型コロナの影響が長引き、目標値を下回った。	運転免許返納者へのコミュニティバス半額利用者証の交付は毎年一定数存在する。今後も運賃補助のパターン拡充などの検討を行い利用者の費用負担を軽減することで、利用促進につなげたい。また、路線バスや鉄道からの乗り継ぎ利用など沿線外からの利用者獲得も引き続き行う。
羽後交通株式会社	子吉線(系統1) 子吉線(系統2) 子吉線(系統3)	【前回の評価結果】 町内会・老人クラブに呼びかけ、「対話会」を実施し、積極的な利用促進を図る。 【評価結果の反映状況】 要望のあった地域に出向き対話会を開催し、当事者意識の醸成と月1回程度の定期的な利用を呼びかけた。 また、時刻表に幹線との乗り継ぎや利用例を記載したものを作成した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 【目標値】1,400人 【実績値】1,767人 【達成率】126.2% 沿線町内において「対話会」や月に1度の利用状況の周知を行うことで、地域のバスという雰囲気が醸成されてきている。 また、病院への利用も増えてきている。	全体的な目標数値は達成したものの、延伸した鮎川地区などは利用者の伸び悩みがあるなど、地区によって乗車率の幅が見受けられるので、今後も定期的な利用を働きかける。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
光タクシー株式会社	道川北線	【前回の評価結果】 具体的な利用パターンの提案など、利用促進の取り組みに期待する。 【評価結果の反映状況】 住民の利用ニーズの高い施設へ直接行けるようになるなど、利用促進に結びつけた。また、時刻表に幹線との乗り継ぎや利用例を記載したものを作成した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 【目標値】200人 【実績値】237人 【達成率】118.5% 定期的な利用者を確保できている。	定期的な利用を維持しながら、具体的な利用パターンの提示(提案)を推進し、新規利用者の獲得も図りたい。
東交通株式会社	八塩線	【前回の評価結果】 具体的な利用パターンの提案など、利用促進の取り組みに期待する。 【評価結果の反映状況】 フリー乗降区間を設けるなどし、利用者の利便性向上に結びつけた。また、時刻表に幹線との乗り継ぎや利用例を記載したものを作成した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 【目標値】1,700人 【実績値】2,088人 【達成率】122.8% 競合する交通機関(鉄道など)が無いため、定期的な利用者を確保出来ている。	幹線である路線バスとの接続を強化するとともに、無料利用デーなどのような事業も検討し、さらなる利用者の獲得を目指したい。
東交通株式会社	法内線	【前回の評価結果】 具体的な利用パターンの提案や買い物「サロン」など、利用促進の取り組みに期待する。 【評価結果の反映状況】 通院や買い物の移動手段として一定の利用があり、交通空白地域の解消に向けて取り組んだ。また、時刻表に幹線との乗り継ぎや利用例を記載したものを作成した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 【目標値】1,000人 【実績値】793人 【達成率】79.3% 新型コロナの影響が長引き、買い物「サロン」などのような目立った活動が出来ず、目標値を下回った。	社会情勢を見極めながらも、サロンの活動を再開するなど、利用促進を行う。また、幹線である路線バスとの接続を引き続き強化し、さらなる利用者の獲得を目指したい。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
由利本荘市	西目線	【前回の評価結果】 具体的な利用パターンの提案や「ちよい乗り」PRなど、利用促進の取り組みに期待する。 【評価結果の反映状況】 沿線施設の利用パターンやJR等との乗り継ぎを検証するとともに時刻表に乗り継ぎや利用例を記載したものを作成した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 【目標値】2,600人 【実績値】2,000人 【達成率】76.9% 新型コロナの影響や、定期的な利用者が施設入居や亡くなるなどし、全体的に利用者が減少した結果、目標を下回った。また、新規利用者の獲得が伸び悩んだ。	鉄道や路線バスとの接続を強化するとともに、利用パターンの提示(提案)を推進する。また、さらなる利用者の獲得を目指し無料利用デーなどのような事業も検討したい。
由利本荘市	中田代線	【前回の評価結果】 具体的な利用パターンの提案など、利用促進の取り組みに期待する。 【評価結果の反映状況】 新型コロナの影響と直近の利用実態を踏まえ、目標値を下方修正した。また、時刻表に幹線との乗り継ぎや利用例を記載したものを作成した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 【目標値】10,000人 【実績値】8,809人 【達成率】88.0% 新型コロナの影響や、定期的な利用者が施設入居や亡くなるなどし、全体的に利用者が減少した結果、目標を下回った。また、新規利用者の獲得が伸び悩んだ。	路線バスの廃止区間を補完した生活に欠かせない路線として今後も維持するとともに、地元協議を重ねて駐車場やダイヤの改良を行う。また、さらなる利用者の獲得を目指し無料利用デーなどのような事業も検討したい。
由利本荘市	羽広-軽井沢線(系統3) 羽広-軽井沢線(系統4) 羽広-軽井沢線(系統6)	【前回の評価結果】 補助対象事業の基準を満たせるよう、本荘方面からの接続強化以外に、利用者ニーズを把握・分析の上、事業内容を精査すること。 【評価結果の反映状況】 主要拠点である道の駅までの直接乗り入れと、ダイヤの編成を行い、利用促進に取り組んだ。また、時刻表に幹線との乗り継ぎや利用例を記載したものを作成した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 【目標値】2,000人 【実績値】1,230人 【達成率】61.5% 新型コロナの影響や、定期的な利用者が施設入居や亡くなるなどし、全体的に利用者が減少した結果、目標を下回った。また、新規利用者の獲得が伸び悩んだ。	買い物「サロン」や対話会を開催し、バスの触れる機会を増やして、新規の利用者開拓を目指す。また、利用パターンの提示(提案)を推進し、さらなる利用者の獲得を目指したい。

※枠の大きさの変更は可能です。

由利本荘市地域公共交通活性化協議会

平成 27年 10月 1日事業開始

事業名: 令和3年度地域内フィーダー系統

生活交通確保維持改善計画

目的・必要性

羽後交通(株)の不採算路線を市が代替運行することで路線の確保に努めてきたが、人口減少や高齢化により交通空白地域から公共交通の導入要望が増加しており、新たな対応・対策が必要である。また、ドライバーの高齢化や人手不足により、今後路線バスの廃止路線が出る可能性もあり、公共交通の維持確保が必要である。

確保・維持する系統の概要

【地域内フィーダー系統】(全13系統)

【羽後交通(株)】●本荘地域循環バス(2系統)／毎日運行
●子吉線(3系統)／西地区路線(月木)、東地区路線(火金)運行

【光タクシー(株)】●道川北線／火曜・木曜運行

【東交通(株)】●八塩線／月曜～金曜運行 ●法内線／月曜・水曜・金曜運行

【由利本荘市】●西目線／月曜～土曜運行 ●中田代線／毎日運行

●羽広一軽井沢線(3系統)／月曜～土曜運行

【料金】全8路線とも一律200円(未就学児は無料)



事業・実施主体

- ・各地域の検討委員会等で利便性向上と積極的な利用促進を図るための対話会を行う。(由利本荘市)
- ・便ごとの乗車率データを集積し、ニーズを把握するとともに幹線との接続強化を図る。(由利本荘市)

定量的な目標・効果

【目標】年間輸送人員

- ①本荘地域循環バス(正廻り・逆廻り)・・・25,000人
- ②子吉線(路線全体で)・・・1,400人
- ③道川北線・・・200人
- ④八塩線・・・1,700人
- ⑤法内線・・・1,000人
- ⑥西目線・・・2,600人
- ⑦中田代線・・・10,000人
- ⑧羽広一軽井沢線(路線全体で)・・・2,000人

【効果】

- ①双方方向運行により待ち時間と乗り継ぎの不便さが解消され利用者の掘り起こしができる。
- ②ニーズの高い施設に直接行くことができる。
- ③直接行くことができなかったニーズの高い施設に行くことができる。
- ④路線バス廃止に伴う補完路線であり「生活の足」の確保が図られる。
- ⑤通院や買い物の移動手段として運行され、交通空白地域解消が図られる。
- ⑥住民ニーズに対応した経路設定をしたことで、新たな利用者の掘り起こしができる。
- ⑦路線バス廃止に伴う補完路線であり「生活の足」の確保が図られる。
- ⑧2路線を再編し、結節点である「道の駅」まで直接乗り入れ可能となり利便性が向上する。

基礎データ

合併状況: 平成17年に1市7町が合併
人口: 74,707人 (令和3年11月30日現在)
面積: 1,209.60平方キロメートル
高齢化率: 38.1%
協議会開催数: 協議会開催数: 協議会3回(内、書面協議3回)

前回の評価結果

【達成状況(結果)】(特に改善が必要な2系統)中田代線9,911人(達成率82%)、羽広一軽井沢線1,264人(3系統/達成率63%)

- 【評価】路線バスや鉄道との接続を強化し、通学や通院などの新規利用者の確保を図る。
- ・地域の医療機関または本荘方面に運ぶ便としての利用価値があり、ニーズを捉え利用者の確保を図る。
 - ・本荘方面からの接続を強化し利用者の増加に努める。
 - ・補助対象事業の基準を満たさなかった羽広一軽井沢線(系統6)について、事業内容を精査する。
 - ・年間利用者数の目標値については、直近の利用実態の分析を行い検討を願う。

評価項目

実施状況、目標・効果の達成状況

【実施状況等】

- ・市内の町内会・老人クラブに呼びかけ、公共交通の利用に関する「対話会」を行った。
- 町内会: 2件／延べ参加者22名 老人クラブ: 1件／延べ参加者16名
- 乗合交通事業実施団体: 3件／延べ参加者34名
- ・時刻表に幹線との乗り継ぎや利用例を記載したものを作成した。

【実績】

※乗車人数(達成率)

本荘地域循環バス 88%、子吉線 126%、道川北線 118%、八塩線 122%、法内線 79%、西目線 76%、中田代線 88%、羽広一軽井沢線 61%
内訳 A=3件 B=2件 C=3件

※評価の判定基準

- ・A ⇒ 目標達成100%以上
- ・B ⇒ 目標達成80%以上100%未満
- ・C ⇒ 目標達成80%未満、又は、補助対象外(1運行当たり2人未満、運行割合30%未満)

事業の今後の改善点

- 無料利用デーや買い物サロン、ちょい乗りなど乗車体験が出来る機会を増やし、新規利用者確保に努める。
- ルートやダイヤ改正など定期的な見直しを図り、ニーズに合った路線に改良する。
- 回数券等の割引きなどを実施し、経済的負担を軽減し利用促進に繋げる。

※記入する際、枠の大きさの変更及び頁追加のうえ作成することも可能とします。